

【 養成医に聞く 】 公立村岡病院

◀ 紹介 ▶

名 前：安田 矩明（やすだ のりあき）

勤務先：公立村岡病院

経 歴：2016年鳥取大学卒業、市立西脇病院で初期研修、その後は公立八鹿病院、市立西脇病院、神戸大学医学部附属病院総合内科、加古川中央市民病院リウマチ・膠原病内科で後期研修後、2023年から公立村岡病院で勤務



◀ 村岡病院の紹介 ▶

香美町の魅力は以前のかかわら版に載せていただいておりますので村岡病院の事を記させていただきます。

公立村岡病院は42床の病院で香美町村岡区、小代区が診療対象地域です。病院周辺は地図の様に山間にある小学校・中学校・高校の中心に村岡病院があります

現在、村岡病院は石田院長、県養成医師2名、八鹿病院の総合内科プログラムから1名の計4名の医師がおります。業務は外来が1/2、入院が1/4、訪問診療が1/4と他の病院と比べると訪問診療が特徴の病院です。訪問診療は計100～110名程を分担しており、場所によっては崖近くのお家もあるそうで、冬は移動が命がけのようです。診療は医師と外来担当看護師で行い、診療間は訪問看護師が患者さんの体調チェックをしてくれます。看

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(神戸大学総合内科医局内)

看護師からの訪問先の情報はコミュニケーションに欠かせない有り難いツールです。また、訪問看護ステーションは院内にあり、変化があれば逐次連絡いただくので、スムーズな情報共有が行えております。訪問看護だけでなく、訪問リハビリも当院の理学療法士が行っております。

訪問診療は病院勤務だけでは経験できない様々なことが起こります。例えば、訪問診療中の患者さんから連絡があり、真っ暗なところを安否確認にいったこと。体重が7 kg増えNT-proBNP 値が5桁になったものの入院拒否のため、訪問診療で対応したこと、着任して数カ月ですが様々なことを経験しました。また、外来には患者さんの体調により、ケアマネや隣人が同席されることも珍しくなく、村岡病院を中心に医療コミュニティが形成されていることを常々感じています。

ここからは村岡のあるある？です。私は官舎から病院まで、健康の為に自転車通勤でしたが、よく天候が崩れるのと、帰宅途中で鹿がでたこともあり、ヘルメットを買ったのに現在は車通勤です（「楽するな！」ってツッコミたくなりますね）。

ただ、「弁当を忘れても傘を忘れるな」という訓戒が村岡には本当にあり、日本海側に住むことが多かった私も天気的不安定さには驚いています。季節の変わり目は寒暖差が激しく、患者さんも体調を崩される方が多いようです（5月初旬も日中は半袖でも過ごせましたが、夜中は暖房が必要でした。「砂漠か！」ってツッコミたくなりますね）。

そのような環境で過ごされていることもあってか、90歳でも元気に外来受診されるスーパーな患者様が多いです。患者様やスタッフからは冬の厳しさをお話いただくことが多く、戦々恐々としております。



キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(神戸大学総合内科医局内)

◀ あとがき ▶

「私たちは患者さんを援助します」をモットーに臨床をしております。ただ、当院でできないことも多く、但馬地方の医療機関をはじめ関係者の方々にお願いしていることが多々ありますが、今後ともよろしく願います。また、少しでも村岡病院に興味をもたれた方は、「百聞は一見に如かず」です、いつでもご連絡お待ちしております。



『かわら版』を書いてみませんか？病院宣伝でも、〇〇自慢でも、地域医療に掛ける思いでも何でも結構です。原稿はどなたからでもいつでも受け付けています

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597(神戸大学総合内科医局内)